

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 11 号

平成 28 年 3 月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 影山 晃一

第 31 回卒業式（3月 18 日）



春の陽ざしの中、多くのご来賓、保護者の皆様のご臨席を賜り、晴れやかに挙行了しました。6 年児童 32 人は、堂々と、自信に満ちた態度で卒業証書を受け取り、海道小学校を巣立ちました。

「よろこびのことば」では、卒業生は喜びと新たな決意への思いを、在校生はお礼の気持ちを込めて呼びかけ、会場全体を感謝の心で包みました。そして、全校合唱「旅立ちの日に」で締めくくりました。

式辞では、本県矢板市出身の宮大工、小川三夫さんの言葉から、卒業生への未来に向け、話をしました。

小川さんは、高校の修学旅行で法隆寺の五重塔を訪れ、大きな木が組み上げられ、1,300 年を越えて塔を支えていることに感動し、宮大工を志します。そして、作り上げたのは、道具やデータではなく、信念ではないかと気づき、その信念を学ぼうと修業し、宮大工に成長します。

小川さんの言葉です。

「信念でものをつくる。信念とは、納得がいかない、という思い。その思いがあるから、やる気が起き、一所懸命やる」。

「一所懸命とは、うそ偽りのないものを残すこと。私が修理したお寺や神社を、何百年か後の宮大工が見て、平成の宮大工の信念を読み取り、昔の技や知恵をよみがえらせる。本物は、時代をこえて人の心を打つ」。

小川さんは、これから未来を切り拓く皆さんに、大切なことを伝えています。

信念、何としても、やり遂げようという信念をもち、絶え間なく、自分を高めること。そして、一所懸命に物事に取り組み、誰に対しても胸を張れる行いをするということです。



この言葉が、卒業生の夢や希望を叶える力になることを願っています。

◇ 宮っ子心の表彰

卒業式に先立ち、「宮っ子心の表彰」を行いました。この表彰は、市教育委員会が実施するもので、見本となる行いをしている児童生徒が対象です。本校では、「おもいやり」「よく考える」「明るく元気」「進んではたらく」の「目指す児童像」を実践している児童を各学級から選び、8 人に表彰状を渡しました。今後のさらなる成長を期待します。



行事から

実施した行事のいくつかと、本校の目指す児童像をお知らせします。

ボランティアさんに感謝する会（２日） ～進んではたらくこども～

本校には、学校のために力を貸してくださる方が多数いらっしゃいます。登下校や校外学習を見守り、安全を確保くださる方。校庭の草をとったり、花壇を整えてくれたり、潤いのある環境をつくってくださる方、書写や家庭科の授業や読み聞かせ、オープンスペースの掲示物の作成など、学習を支援くださる方などです。感謝の気持ちを込め、プレゼントを贈りました。さらに、その気持ちを、地域全体に広げましょう、と話しました。



謫謫会との交流（１１日） ～思いやりのある子ども～

本校では、おもいやい広報委員会を中心に、家庭や地域の協力を得てプルタブを回収し、車椅子の贈呈に向けた活動をしています。年度末に当たり、謫謫会の方が、本年度のプルタブ 215 kgへの感謝の気持ちとして、手作りのペーパーフォルダーを持参し、来校されました。おもいやい広報委員会で授与式を催し、交流を深めました。いただいた品は、各学級で活用し、謫謫会とのつながりを実感しています。



お知らせ

校内外の出来事で、保護者や地域の方にお知らせしたいことを取り上げました。

各種調査の結果から

◇ うつのみや学校マネジメント（学校評価）

児童、保護者、地域住民、教職員を対象にアンケートを実施し、学校運営を始め、生活、健康・体力、学習における取組の成果を検証し、地域協議会からの意見等も踏まえ、次年度の方向性を検討しました。結果等については、昨日お知らせしたとおりです。

また、作成した学校評価書は、本校ホームページで公表しています。

◇ 体罰の根絶及び児童生徒と教職員とのよりよい関係づくりに向けた調査

本市では、体罰は児童の身体や心を傷つける人権侵害行為であるとの考えのもと、市と学校が一体となり、体罰根絶の取組を進めており、本校でも、「力に頼らない指導」を実践しています。調査の中で、児童と教職員とのよりよい関係づくりに向けての意見をいただきましたので、一部を紹介いたします。

- ・ 他人と比べるのではなく、以前のその子と比べてどうかを具体的にほめることが大切。先生の言葉の力は大きいので、些細な成長も見取り、褒めると子どもは飛躍的に伸びる。
 - ・ 子どもが先生に相談できる雰囲気の日頃からつくっておく。また、先生間でも、そういう雰囲気をつくる。担任一人が問題を抱えない学校の組織づくりも大切。
- いただいた意見を教職員が共有し、児童理解に基づく、一人一人を大切する教育に努めます。

平成 28 年度の学級数及び教室配置

現段階での次年度の学級数は、1、3、4、5、6年生が1学級、2年生が2学級、わかば学級の8学級で、本年度から1学級減です。2年生は、学級編制基準が35人のため現在2学級ですが、3年生以上は基準が40人になるため、1学級となります。1年生は、現在の学級のまま、2年生に進級します。

学級減に伴い、教室配置を一部変更します。現在、1階にある「かがやきルーム」を「児童会室」にします。「かがやきルーム」は、現3-1教室（2階）へ、3-1教室は、現1-2教室（2階）に移動します。4～6年生（1階）、2年生（3階）は、変更ありません。